

### 甲南女子中学・高校

(神戸市東灘区森北町)

体優勝。インターハイでもベスト16と躍進。8月の全国中学生弓道大会では、個人・団体ともに準優勝した。さらに高校3年の3人が10月の国体メンバーに選ばれるなど活躍が続く。

中学生22人、高校生23人が所属する。放つ矢は平均して一日30本。放課後はもちろん、朝や昼休みにも練習する。「朝や昼は強制参加ではないけど、少しでもうまくなりたいから」。部員たちは



人としての礼儀も学べる」と話す。

「たった一本が勝負を決める。それが弓道の怖さでもあり魅力」と国体出場を控えた西村優美さん(17)。練習通りを心がけても、試合での射るのには至難の業。「勝利の一本」のために、無心で練習を重ねる。

(長江優咲)

精神統一して弓を引く部員たち。甲南女子中学・高校

## 高3生3人が国体選手

43

中国地方で発見され、正体不明の植物」とされていたテリハナツノタムラソウが、シソ科アキギリ属の新種であることを、県立人と自然の博物館(三田市弥生が丘6)の高野温子主任研究員(植物分類学)らが確認し、このほど論文発表した。日本産の同属種は13番目となる。

テリハナツノタムラソウは、広島県の山あいの川筋などで見つか

神戸市中央区波止場町の「ホテルラ・スイート神戸ハーバーランド」が、丹波焼の陶芸家グループ「Tanba Style」(丹波スタイル)の食器を使ってケーキセットを提供している。和の

器と洋菓子という異色の組み合わせ。丹波スタイルの市野秀之委員長(50)は「篠山市今田町上立杭IIは「丹波焼の新たな可能性を知ってもらおうきっかけになれば」と期待する。

(安福直剛)

# ホッとひと息 丹波焼が演出



## 神戸のホテルでケーキセット 「Tanba Style」の食器使用

丹波スタイルは陶芸家有志で昨年立ち上げ、現在8人が参加している。伝統を重んじながらも、新しい挑戦をしようというイベントなどを企画してきた。

同ホテルでは兵庫県の旧五国にちなんだ「味めぐり」を開いており、9〜11月は丹波地域の食材を提供する。丹波栗などを使ったケーキセットの食器で、丹波スタイルの事務局を務める市商工会の仲介で丹波焼を使うことが決まった。

8人は今回、和の雰囲気を出しながらも、赤を大胆に使ったり、通常の陶器に点や線のアクセントを入れたりして、洋食に合うようなカップやケーキ皿を1人1セットずつ提供した。

同ホテルも「味だけでなく、心のこもった

### あす世界自殺予防デー 産業カウンセラー協会



## 「一人で悩まず相談」から電話相談

世界保健機関(WHO)が定める「世界自殺予防デー」の10日に合わせ、日本産業カウンセラー協会関西支部は10、12日、「働く人の電話相談室」を開設する。「一人で悩みを抱えず、専門家に相談を」と呼び掛ける。

昨年の電話相談には全国13支部に814件の相談があった。無職が25%で最も多く、正

### 独ジャーナリ

ドイツ人ジャーナリを招いてデジタル時代ディアについて考える会が10日午後6時半から大阪市立中央図書館(西区北堀江4)である。大阪・神戸ドイツ総館などの主催。ドイツきな影響力を持つ週刊

「正体ひと」 三田